

クリプト

赤谷慶子

世界のカトリック教徒数は十三億人とせられをり、その中において日本の信者は四十万人と壓倒的に少なし。日本の総人口の0.343パーセントなり。然れば教會の地下に設置せられるクリプトと呼ばれる納骨堂はいと少なし。この納骨堂といふ名稱はラテン語の *crypta* もしくはギリシヤ語の *krypte* に由來し、教會および城の床下に作らるる石造りの貯藏室のごときものと百科事典はことわる。禮拜堂もしくは納骨所にて用ゐらるるがゆゑに、聖人や高位の聖職者など、高貴なる人物の石棺・棺・遺物など納められたり。地下聖堂は基督教史の初期、アルジェリアのオルレアンズビルおよびジェミラ、コンスタンチノープルのビュザンティオンのある聖ジョンの工房にその原型見らるとされ、カール大帝支配下の西歐に使はれ始め、廣まりけむ。近代には、クリプトの語は死者を安置するための石造りの室、納骨所にて用ゐらるるが多し。常は墓地、あるいは教會堂や大聖堂と呼ばれる公共の宗教施設に設置せらるるが、個人の靈廟やチャペルの下に作られたるものもあり。例へば、多くの王室は歴代の王族の遺骸が何體も納められたる巨大なる石室墓を持てり。

このクリプトは日本にいと少なく、おのれの知れるは四谷のイグナチオ教會と品川の高輪教會のみなり。イグナチオのクリプトには、かつての氣功仲間數年前に逝去せられしをり、その納骨に友人達と立ち合はむがために初めて訪れき。おのれはイグナチオにて幼児洗禮を受けしカトリック教徒なるのみならず、大學も上智なれば、幾度も禮拜に行けるに知らざりき。地下に設けられ、なかなか壯麗なる施設なり。

クリプトの數の少なきはむべになり。日本の信者數の少なきためなれど、最も數の多きが東京大司教區にて教會數は四十三に上れど、長崎大司教區は隠れキリシタンの子

孫の多かりし歴史的経緯もあり、総人口の4.38パーセンと突出せり。五島列島に及べば14.6パーセントといと高し。日本には三つの大司教区ありて、(東京、大阪、長崎)、それぞれの大司教 (Archbishop) の下に管轄せられたり。ローマ教皇の次位なる樞機卿 (Cardinal) は二〇〇七年に白柳誠一樞機卿逝去せられ、二〇十八年に大阪の前田萬葉大司教任命せらるる) まで長く不在なりき。かく數字が全てを物語れり。

(令和四年三月二十七日受附)